

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	デジタルデザイン I	担当教員	清水隆宏			
学年学科	3 年 建築学科	前期	必修	1 単位		
学習・教育目標	(D-2) 17%、(E) 83%					
授業の目標と期待される効果： 近年の情報化社会の中、コンピュータを中心とした情報処理は建築においても非常に重要となっている。本教科では建築に関わる技術計算に加え、CAD、CG ソフトを用いた製図表現を修得することを目標とする。		成績評価の方法： 第1課題～第3課題、各100点、合計300点における総得点率(%)により成績評価を行う。 また、授業に対する姿勢も考慮し、授業の進行を妨げる行為・消極的な行為に対しては、得点率の1～10%を減じた値で評価する。 具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点(%)を対応させる。				
学習・教育目標 ①VectorWorks による製図技術 ②SketchUp による図面作成技術		達成度評価の基準： ①～②を基準とし、教科書や試験問題と同レベルの問題で出題し、6割以上の正答レベルに達していること。 なお成績評価への重みは(1)50%、(2)50%とする。 ①3次元によるCGモデリング技術を習得する ②3次元CADを用いた製図技術を習得する				
授業の進め方とアドバイス： 授業は演習を中心に行うので、自ら積極的に取り組む姿勢が重要である。また、授業時間外にも各自で予習復習し、技術の習得に努めることが望ましい。						
教科書および参考書： 教科書：VectorWorks+Design (BNN新社) SketchUp パーフェクト 作図実践編 (エクスマレッジムック)						
授業の概要と予定：						AL のレベル
第 1 回：建築設計におけるCAD・CG活用の解説						
第 2 回：SketchUp を用いた3次元CGの利用技術習得(1)						B
第 3 回：3次元CGの利用技術習得(2)						B
第 4 回：3次元CGの利用技術習得(3)						B
第 5 回：3次元CGの利用技術習得(4)						B
第 6 回：3次元CGの利用技術習得(5)						B
第 7 回：3次元CGの利用技術習得(6)						B
第 8 回：中間試験 (SketchUp による3次元作図の即日課題試験)						
第 9 回：VectorWorks を用いた3次元CADの利用技術習得(1)						B
第10回：3次元CADの利用技術習得(2)						B
第11回：3次元CADの利用技術習得(3)						B
第12回：3次元CADの利用技術習得(4)						B
第13回：3次元CADの利用技術習得(5)						B
第14回：3次元CADの利用技術習得(6)						B
期末試験 (実施せず)						
第15回：講評会、成績の確認						

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	3次元によるCGモデリング技術を正確に(8割以上)使いこなせる。	3次元によるCGモデリング技術をほぼ正確に(6割以上)使いこなせる。	3次元によるCGモデリング技術を使えない。
②	3次元CADを用いた製図技術を正確に(8割以上)使いこなせる。	3次元CADを用いた製図技術をほぼ正確に(6割以上)使いこなせる。	3次元CADを用いた製図技術を使えない。